



回																			
覧																			

八幡界限まちづくりフォーラム 屋台村構想からの景観形成

6月27日(火)、河南公民館でもりおか八幡界限まちづくりフォーラム(八幡界限まちづくりの会主催)が開かれました。

テーマは「常設屋台村構想からまちなみ景観形成を考える」。基調講演で岩手県立大学の倉原宗孝教授は「まちの活性化のための取組は何を目指すのか、その姿勢が問われる。同じ志をもつ仲間だけでなくたくさんの人とオープンな議論を重ねることが大切。まちの記憶を大切に盛岡らしい個性を出そう」と語りかけました。



30人を超える参加者に熱く講演する倉原教授

キャラホールの演奏会で 山車の和太鼓が吹奏楽と共演！？

パシフィック・ブラス・オルケスタ★は5月14日(日)、キャラホールでコンサートを開きました。

都南公民館を拠点に活動する吹奏楽団体で、東北大会にも出場する実力派。今回は、盛岡秋まつりの山車「い組」との共演が話題となりました。

吹奏楽の美しいハーモニーと和太鼓の勇壮な響きの共演に客席を埋め尽くした観客は魅了され、惜しみない拍手を送っていました。



キャリア教育の“未来パスポート” 10周年を迎えたお祝いの会

5月28日(日)、ホテルルイズで未来パスポート10周年お祝いの会が開かれました。

特定非営利活動法人未来図書館(古澤眞作理事長)はキャリア教育を通じて子どもと大人の学びの場を創出する活動を展開。未来パスポートは学校に社会人講師が伺い、社会人がそれぞれの想いや仕事の内容を子どもたちに語るプログラム。これまでに100回以上実施された10周年を振り返りながら、社会からの期待の高まりに応えつづけようと決意を新たにしていました。



十年を振り返り今後に展望する古澤眞作理事長

あすを築く盛岡市民運動実践協議会は “世界につながるまち盛岡”市民会議へ

6月1日(木)、盛岡市勤労福祉会館で平成29年度あすを築く盛岡市民運動実践協議会総会が開かれました。昭和43年の結成から市民運動推進の中核的な役割を果たし、昨年の希望郷いわて国体・大会でも、市民総参加による国体の成功に大きく貢献。この国体の成功を大きな区切りとして組織を見直すとともに、「“世界につながるまち盛岡”市民会議」と改称し、盛岡の魅力の世界につなげようと新たなスタートを切りました。



新会長に選任されあいさつをする田口幸雄氏

つながるわ Vol.55

輪・和・WA... 和・WA...

発行：盛岡市市民部市民協働推進課

〒020-8530 盛岡市内丸12-2
TEL：019-626-7535(直通)
E-mail：kyodo@city.morioka.iwate.jp
(平成29年7月発行)



小鹿公園を 活用した 地域づくり事業

5月21日(日)、小鹿公園で本格的な紙飛行機を楽しむ催しが開かれました。指導したのは全日本紙飛行機協会の仁科光正さん。参加した皆さんは、思い思いに絵を描いた紙飛行機を新緑の輝く草原に飛ばしあいました。

主催したのは松園地区自治協議会の松園地域協働推進委員会。松園地区では、地域づくり計画に基づいて協働の事業として取り組んでいる小鹿公園の活用と魅力発信に平成25年度から継続して取り組んでいます。

岩手県
初開催

准認定
ファンドレイザー

必修
研修



概論の講師を務めた認定ファンドレイザーの浅井美絵さん。豊富な経験に裏打ちされた話は受講者の耳を離しませんでした。豊

6月16日、アイーナで「准認定ファンドレイザー必修研修」が開かれました。特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会が主催するもので、体系的にファンドレイジングについて学ぶことができる日本唯一の基礎研修。岩手県では初めての開催で、岩手県内のほか東北各地から26人が参加しました。

ファンドレイジングとは

一般的には「寄付集め」や「資金調達」を指しますが、資金調達だけでなくNPOにとって「社会の人とNPOの夢を繋ぐこと」も大切な視点。よりよい社会を作るための共感のマネジメントの手法です。社会貢献の両輪は金品の寄附と労力のボランティアであり、社会との寄附を繋ぐ仲介役がファンドレイザー、社会とのボランティアを繋ぐ仲介役がボランティアコーディネーターと言えます。

社会課題の解決には

NPOが社会に認識された主体となり、たくさんの人に活動へ参加してもらうことが大切。より多くの人を巻き込み、課題の共通認識を持つことが継続的な課題解決に結びつきます。活動するほど資金が必要になるのも避けられない事実ですが、資金を集めれば社会課題を解決できるということでもありません。戦略的に活動を継続し続ける視点も必要と言えます。共感のメッセージを強化することで支援者の輪を広げること、スタッフやボランティアの意欲を高めること、そして行政や企業、財団などを含めた社会的な認知・理解を増やすことに繋げていくことも大切です。それらに加え、団体や活動に対する社会的な信頼を得るためには、高い倫理意識を持った組織運営が不可欠です。

日本ファンドレイジング協会 (jfra) とは

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会（鶴尾雅隆代表理事）は民間非営利組織のファンドレイジングに関わる人々と寄附など社会貢献に関心がある人々のためのNPOとして、認定ファンドレイザー資格制度や社会貢献教育などに全国的に取り組んでいる認定NPO法人です。同協会東北チャプター共同代表の葛巻徹さんは「今後も毎年、岩手でこの研修を開催し、社会課題の解決につなげていきたい」と意欲を燃やしています。

【日本ファンドレイジング協会】 <http://jfra.jp/>



もし自分が、家族が、友人が、認知症になったら。認知症は誰にでも起こり得る脳の病気です。認知症について正しく知って、認知症の人を応援する「認知症サポーター」になりませんか。

認知症サポーターとは

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を見守る応援者が「認知症サポーター」です。友人や家族に学んだ知識を伝えることや認知症の人と家族の気持ちを理解しようと努めることなど、自分ができる範囲で活動します。

認知症サポーターになるには

認知症サポーター養成講座を受講し、修了すると認知症サポーターになれます。受講者には「認知症の人を支援する」という意思を示す目印のオレンジリングを配布します。

サポーター養成講座を開きませんか

盛岡市は、町内会・自治会や学校、職場などでサポーター養成講座を開く場合、無料で講師を派遣します。時間は60～90分程度。子どもから高齢者まで、受講者の年齢に合わせた内容で講義します。講師の派遣を希望する人は、講座の開催希望日の1カ月前までに、長寿社会課（電話：019-613-8144）へ電話で申し込みください。



公募型協働 推進事業

平成29年度の公募型協働推進事業に下表の事業が採択されました。なお、市は二次募集を行います。詳しくは、盛岡市ホームページ (<http://www.city.morioka.iwate.jp/>) をご覧ください。

事業名	実施団体 (協働担当課)	概要	事業費 (補助額)
保護猫預かりボランティア支援事業	特定非営利活動法人 もりねこ (生活衛生課)	盛岡市保健所に保護された猫の殺処分ゼロ実現、市民に命の大切さを伝えること、人と動物が共生する地域社会の実現を目指し、盛岡市保健所に保護された猫のうち、哺乳や療養などが必要な猫を自宅で預かってくれるボランティアを支援する。	60万円 (48万円)
スポーツの力で盛岡の未来を創るため、子供たちの運動力アップを地域、学校の連携で推進する事業	特定非営利活動法人 いーはとーぶスポーツ クラブ (スポーツ推進課)	子ども達ももっとスポーツに取り組めるように、地域、学校、スポーツ関係者を繋げて、学校や地域での遊びやスポーツのできる環境をよりきめ細やかにレベルアップさせ、スポーツ嫌いの子がなくなり、心身とも元気な子ども達が増えることを目指す。	63万円 (50万円)
青少年の健全育成に向けた花による情操教育事業	写真くらぶキラキラ (学校教育課)	教育基本法にある「幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと」を目的に、学校の授業の一時間を使い、手作りの花器を用いて、季節のお花を活ける体験を行う。	6万円 (6万円)
【内陸避難者の生きがいがづくり支援事業】 「色彩セラピー塾」事業	東日本支援 チーム・ アートdeセラピー (危機管理防災課)	「色彩」に興味を持っている方はもちろん、色についてもっと深く知りたい方、応用してみたいと思った方、セラピーを求めている方々が「色彩」によって癒され、前向きな人生を送れるようにプログラムした、色彩体験塾を実施する。	44万円 (35万円)